

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

第2期 管理職養成学校ニュース



2022年10月11日発行 (No.2) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

第一講座 ～ 開講 ～

9月20日、オンラインにて第1講座を開催しました。前日は日本列島に大きな台風が通過し、受講生の中には物的破損する被害があった方もおられましたが、幸い人的な被害はなく24名全員が講座を受講することができました。まだまだ緊張する中での講座、10時開催と同時に「好きな食べ物は？」「今一番欲しいプレゼントは何？」という質問に答えるブレイクタイムをしました。

ブレイクタイムのあとはよいよプレゼーションの時間です。「管理職としての私を語る」をテーマに3分間のプレゼンテーションをおこないます。

自己を掘り下げて語る、そもそも自分自身の強みや弱みを理解しているか、この学校を通してどう変わっていきたいのかということ語る中身となっているのか、聞き手に話したい内容が伝わるのかが問われます。

昨年のプレゼンテーションでは5分だった時間が、今年は3分と時間が短くなり、伝えたいことをまとめて伝えることができるのか、事務局も懸念しておりましたが、そこは24名の受講生！開講式からの準備期間に自主ゼミやゼミLINEグループを通して、他の受講生とのプレプレゼンをするなど、予習ばっちりでのぞみました。

少し時間がオーバーした方もおられましたが、3分ぴったりで終えられた方も数名おり、また「自分」を出すことで聞き手に響くプレゼンがあるなど、24人の受講生が24色の色を出した午前の時間となりました



お昼休憩には、zoomのブレイクアウトルームを活用してゼミ交流をしました。

休憩後一番にはそれぞれのゼミから、ゼミ交流でどんなことをしているのかを発表してもらいました。

<ゼミ交流発表>

「ワンピース」ゼミ ひとりひとりのその人らしさを大切にしたいと思っており、ゼミもそんな場にしたいと思っている。アニメの「ワンピース」は主人公の「ルフィ」だけが活躍するのではなく、みんながそれぞれの力を発揮する物語で、「それぞれらしさを大事にできる組織づくり」をめざし、ゼミをそうなりたいたいと思って「ワンピース」と名付けた。

「SHINRAI∞B組」ゼミ 自分の知らなかった分野・仕事を交流する中で感じる事ができる。ゼミが悩みを出し合える場、共感できる場となっている。交流することで刺激となったり、参考になる、学びを深める場となっている。ゼミ内でコロナ禍をうたった「替え歌」動画を見てみんなと笑った。「しんどいときこそ笑いが大事」だとみんなと共感した。

「ミックスナッツ」ゼミ 自主ゼミを開催するにあたり、コロナ禍も重なりなかなか予定通りに開催ができなかった。けれどもみんなで力を出し合って、開催することができた。困難な部分を共有しながら今後もゼミ活動していきたい。

「ポールスター」ゼミ プレゼン原稿提出日に自主ゼミをおこなった。お互い刺激しあいながら、第1講座にのぞむことができた。今後の活動としては、オンライン飲み会を予定している。飲み会を通して、より本音を語る事ができるゼミにしていきたい。



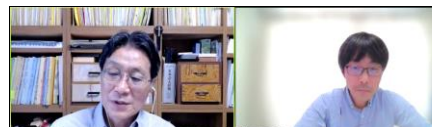
午後からは、第1回講座講師の垣内国光氏の講義です。「社会福祉法人の民主的経営と管理—民主的経営試論」でお話いただきました。

垣内先生は現役の社会福祉法人の理事長をされていることから、自らの経験等を絡めながら、そもそも社会福祉法人とは何か、1951年の社会福祉事業法成立の際、社会福祉法人制度の公共性=公的資金投入と透明性、純粋性=財産処分と私物化排除といった、法律上のものであること、私利私欲や相続性の否定を論議された中で明確になったが、2000年に社会福祉法改正はその論議がちゃんとされないままに施行されていたのではないかということ。そして私たちがよく声にする「民主的経営」とは何なのか、福祉のニーズが出发点、ニーズを耕すこと、科学的で民主的な法人であるべきことを確認しました。

社会福祉経営全国会議の活動方針では、「公的福祉を担う社会福祉法人として、その公益性・公共性・非営利性をまもるための活動を行います」と掲げています。この一見当たり前だと思われるこの方針を掲げなければいけない今の社会福祉制度の背景にも目を向けていくことが必要だともお話されました。

管理監督者として、管理者が必要な能力は何かというお話の中では、職員の要求を耕すことが大事であること=効率化だけで仕事をするだけでは職員が育たない、「どうしたい?」「なぜ、そうしたい?」という職員の考えを大事にする必要性も話されました。

最後に垣内先生から、「管理者も時に揺らぐ、決めつけやその場しのぎの言葉に頼らず、ミッションと職員に誠実であり、無理やごまかしのない関係性を強み」に、日々の管理職としての仕事、管理職養成学校の大海原を仲間と一緒に航海しよう！との励ましの言葉で講義を終えました。



講義のあとのグループワークでは、1日の講座やこれまでの振り返りとして、プレゼンテーションがどうだったか、管理職としての役割やあるべき姿は何か、という内容で、それぞれのゼミで反省や講義で感銘を受けた点などを話しをし、アウトプットすることで、フィードバックすることができました。

後日、受講生の皆さんには、リアクションペーパーという形で、この講座の振り返りをしてもらいました。リアクションペーパーでは、垣内先生の講義でたくさんの気づきと刺激、そして自分自身の振り返りを行うことができた、次の第2回からの養成学校への期待を感じられるような内容が多かったように思います。

垣内先生のお力に感謝するとともに、事務局自身も今後の養成学校について、改めて受講生への期待に応えていきたい、一緒に大海原を航海していこうという覚悟をもらった第1回講座となりました。



グループワーク：ミックスナッツ

第2回講座は、10月27日(木) 講師は 養成学校の校長であり、佛教大学社会学部名誉教授の浜岡政好氏でテーマは「社会福祉法人の在り方を学ぶ」です。